

令和2年6月8日

学校は間違ってもいいところです。



(今朝の登校風景)

今日から、普段どおりの学校生活を始めます。全校生徒が揃うのが、今年度今日が初めてなので、改めて私からお話しをします。

長い長い3ヶ月でした。年度をまたいでの臨時休業。これまで私たちが経験したことのない、時の流れとなりました。

4月1日、私が本校に赴任してまず最初に聞こえていた吹奏楽部の音が聞こえなくなり、翌2日にあいさつを交わした野球部の皆さんがグラウンドから去りました。

本来であれば新2年、3年生が新たな気持ちで臨むはずであった6日の始業式は放送によるものとなり、そして校歌を歌わない7日の入学式の後には、まったく生徒の皆さんの姿が見えない学校風景が続きました。言葉に言い表せない寂寥感。その間も、先生方には皆さんとのコンタクトをとり続けてもらいました。動画も数多く配信しました。動画再生に不具合が発生して、皆さんにはご迷惑をおかけした場面も数多くありましたが、先生方の熱意は十分に伝わっていたかと思えます。

私も、この間少しでも皆さんを力づけたいと考え、本校ホームページの「校長あいさつ」タブの中に「校長メッセージ」という項目を設定し、徒然草のようですが、その時々、日々の思いを皆さんへ伝えてまいりました。ご覧になっていただけただしょうか？

自分の経験が元になっているので、どうしても大学時代に所属していたオーケストラ関係の話題が多くなってしまったのですが、直前の「路傍の花・・・」というメッセージでは、この未曾有の事態での心の在り方、一人一人にとっての「ピンチはチャンス」の方策を考えてもらいたい、との思いを込めました。一度、目を通してもらえるとうれしく思います。

今日から、普通授業を始めます。部活動も感染対策をとった上で再開します。ただし、いきなりのトップスピードにはしません。「少しずつ (poco a poco) 」です。吹奏楽部の皆さんならわかりますね。

ところで、先週までの分散登校時の皆さんの登校風景を見ていると、だんだんと疲れが見えてきました。無理をしないでください。今回の事態に対しては、よく「正しく怖がる」という言い方がされていますが、刻々と変わる状況を正しく理解し、適切に対応することが最も重要です。今後も、学校は様々な情報発信に努めてまいります。生徒の皆さんもこの状況をいたずらに恐れ過ぎず、適切な対応を心がけてください。

さて、先週の分散登校中、各教室の授業を見回っていたとき、ある先生のこの言葉に胸を打たれました。

「間違っているんだよ。間違ふことから、自分がどこがわからないのか、どこでわからなくなったのかが見えてくる」。その後いろいろ語ってくれていましたが、最後は「いっぱい間違えなさい」でした。涙が出てきました。

2回前の「学校は素敵だ・・・」というタイトルの校長メッセージで、さだまささんのこの言葉を例に引きました。

「学校は勉強をするところではない。勉強をする方法を学ぶところだ」。

いっぱい間違えることから学ぶことがある。間違えて次に繋がる。それが例えば「勉強する方法を学ぶ」ことです。

今日から部活動も始まります。トロンボーンの和音の話でも触れましたが、3人で目配せしながら素敵な調和を見つける。それも「勉強の方法」。味方のピンチの時、外野からバッテリーに大声でエネルギーを送る。そこで、バッテリーに化学反応が起こる。それも「勉強の方法」。学校は、いろいろなところで「勉強の方法」が学べます。ほら、「学校は素敵」でしょ？

残念ながら感染のリスクはゼロではありません。皆さんにはこれからもご不便をおかけしながらの学校生活が続きます。この状況が継続できるか、再び臨時休業となってしまうかは、皆さんの心がけ次第にかかっています。「素敵な学校」が続くよう、我々教職員も様々な配慮をしながら精一杯皆さんを支援します。「ピンチはチャンス」を再び思い起こし、少しでも気持ちのよい学校生活を続けることができるよう、生徒の皆さん一人一人の慎重な対応をお願いいたします。

「素敵な学校」が続きますように・・・。